

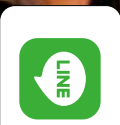
薩摩 内

さつまさんだい

おつかえり肉火網子



November 2023
VOL.4158



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら





みんなで伝統を継承していく。

4年ぶりの熱戦

川内大綱引



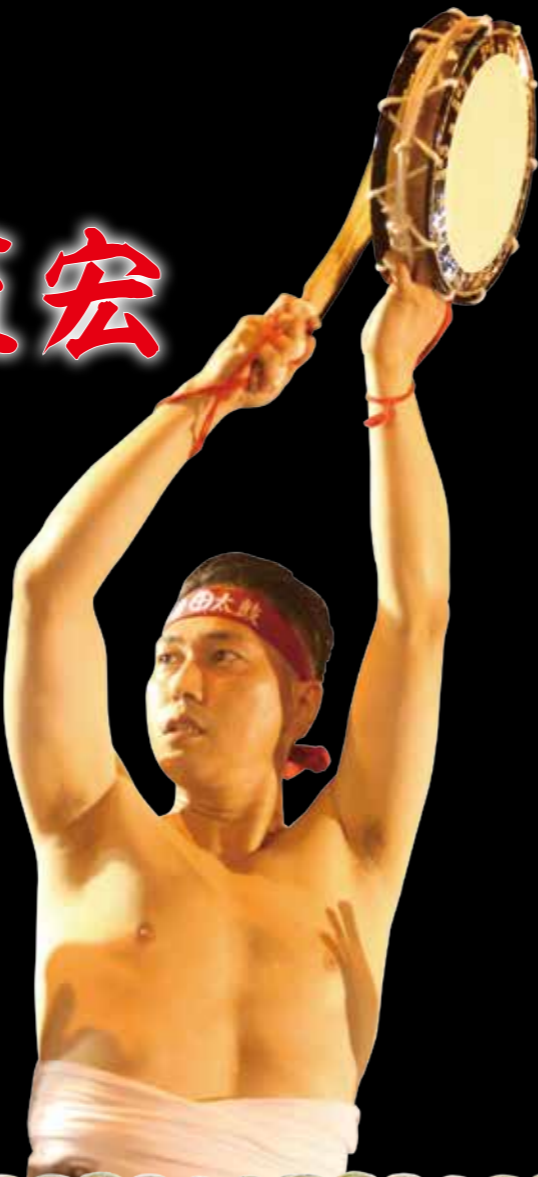
活気づく薩摩川内市



424年目の川内大綱引(県指定無形民俗文化財)が9月22日(金)夜、市中心部の国道3号で行われました。コロナ禍を乗り越え、実に4年ぶりの開催。この日を待ちに待った男衆約3000人が長さ365メートル、直径40センチメートル、重さ7トンの大綱を引き合い、激戦を繰り広げました。20時15分頃、一番太鼓の合図で引き合いを開始。引き隊の邪魔をする押し隊が敵陣に突進してぶつかり合う姿も特徴的で、迫力のある攻防が繰り広げられました。序盤は上方が一気に綱を引き寄せ、その後は膠着状態が長く続きました。21時10分頃、下方が反撃するも、再び上方が引き返し、膠着状態に。そして21時35分頃、双方の一番太鼓が鳴り響き、最後の力を振り絞って綱を引き合うと、その勢い余って綱が切れるという結果に。綱が切れるのは約20年ぶりだそうです。

「ルールに則り、引き分け!」という審判長の判定後、男衆は握手や拍手でお互いの健闘をたたえ、大綱三本締めで今年の大綱引は幕を閉じました。

上方 一番太鼓 田辺屋 直宏



今回、上方の一番太鼓を務めた田辺屋直宏さん。4年ぶりの開催ということで、楽しみにしていたのはもちろん、大役を任せられたことから、緊張もあったそう。

「小さい頃から川内大綱引は身近な存在で、最初に参加したのは高校3年生。父も一番太鼓の経験があり、憧れだった」と言います。結果は引き分けに終わったが、本番まで考えた作戦を思い通りに実行することができ、満足して戦いを終えることができたそう。「目の前で綱が切れた瞬間は忘れることができないけど、一生に一度の経験ができて満足。また、自分の子どもたちに父親としてかっこいい姿を見せることができて良かった」と言います。

今回特に印象に残っていることは、開始直前、仲間を支えられながら騎馬に乗り、ふと後ろを振り向くと、押し隊や引き隊、ワサ係や観客の方々がたくさん見えて、胸が熱くなったことだそうです。

「これからも伝統を継承して、祭りするときぐらいは、地元に戻ってきてもらえるように、次世代を担う子どもたちに憧れてもらえるような存在になりたい」と話してくれました。

「本綱が終了した瞬間の達成感には言葉にできない」と話す井龍千樹さん。今回、下方の一番太鼓を務めました。学生時代から川内大綱引に参加していましたが、本格的にかかわり始めたのは11年前、息子さんが大病を患ったことがきっかけだそうです。

「病気が回復するように」とそんな願いを込めて太鼓隊に参加した」と話します。当時の一番太鼓を務めた方から御神酒を頂き、神棚に飾ったところ、日を追うごとに息子さんの病気も回復の兆しを見せ、川内大綱引の力を強く感じたそうです。

4年ぶりということもあって、本番前の緊張感に加え、「よしー全員で気持ちを一つに頑張ろう！」という気持ちが強く、良い雰囲気の中で本番に挑むことができたとのこと。「結果は引き分けだったが、綱が切れた瞬間のことは、正直覚えていない。達成感で胸がいっぱいだった。上方の一番太鼓と手を交わした瞬間に、現実に戻った気がする」と言います。

「今回、一番太鼓を務めるにあたって、歴代の3役などにたくさんの方のアドバイスをもらって、また、川内大綱引が開催できるのは、さまざまな団体や個人の協力があったからこそ。心から感謝申し上げます。薩摩川内市をあげて開催する行事。次世代へつなぎ、継承していきたい。これからもずっと」と熱い眼差しで話してくれました。

下方 一番太鼓 井龍 千樹



大役を終えた川内大綱引の大綱
本綱が終わった後の大綱は、当日の22時ごろから解体され、トラックで搬出されます。



本綱で使われた「引き綱」は、家内安全や無病息災、商売繁盛のお守りとして家に持ち帰り、玄関や室内に飾る風習があります。



一方、国道では川内大綱引にかかわるスタッフや地域の方と協力し、清掃作業が行われます。23時には交通規制を解除するため、少し緊迫した雰囲気の中、きれいに清掃されます。



また、チェンソーで切断された大綱の一部は、さまざまな団体や個人に寄贈されます。そして最後まで残った綱は、肥料などにするために田んぼに戻されるそうです。

本綱が終了した後、余すことなく綱を再利用し、地域に根付いた行事であることが分かります。

都インター入口にある巨大なオブジェの正体とは

国道3号沿いに千支の巨大オブジェが期間限定で設置されているのはご存じでしょうか。「荷馬車組合」によって制作されたもので、平成15年から毎年通る人の目を惹きつけています。川内大綱引で使った綱を利用し、制作した来年の千支は、地元住民と協力して年末ごろに設置されます。

今年の千支はウサギ。綱の両端に作る「ワサ」を持つ高さ2メートル、横3・5メートルのウサギが登場しました。



通行人を楽しませるだけでなく、交通事故防止の啓発活動の一環でもあるこの千支のオブジェは、毎年年末から1月上旬まで見ることができそうです。

薩摩川内子供大綱引

薩摩川内子供大綱引は、川内大綱引400年祭(平成11年)のイベントの一つとして、歴史的伝統文

化を子どもたちが体験することにより、次世代への継承などを目的で「子供大綱引」として始まりました。

今年は、9月2日(土)、川内川河川敷の西開間運動広場で開催されました。中学生が練った、長さ100メートル、直径約20センチメートルの大綱を、小学生が一番太鼓の合図のもと、一生懸命に綱を引く姿が見られました。

本市の伝統行事である川内大綱引。次の世代からまた次の世代へと伝統を継承していく姿が楽しみです。

次世代に継承する

424年祭の川内大綱引。4年ぶりの開催ということもあり、熱気と歓声に包まれた一日となりました。この伝統を大切に守り、次世代へ継承するためにさまざまな活動が行われています。

令和4年度の広報薩摩川内9月通常版2〜3ページでは、川内大綱引の歴史やルールなどを詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。



▲市ホームページ



タイヤロックの実施

タイヤロックとは、差し押さえた自動車のホイールを専用装置で固定し、運行を不可能にする装置です。催告に応じない場合、自動車の差し押さえを実施しています。

【差し押さえの状況】(単位:件)

財産の種類	令和4年度
不動産	4
預貯金	72
給与	18
年金	4
生命保険	7
合計	105

▼公売などの強制換価処分を受けます
公売などの強制処分は、大切な市税を確保するためにやむを得ず行う最終的な処分です。

税金を納めずにいると

▼延滞金が増加されます
納期限を過ぎて納付すると、その遅延した税額に対して延滞金が増加されます。延滞金は、納期限の翌日から納める日までの期間の日数に応じて計算します。令和5年の延滞金の率は、8・7%(納期限後1カ月は2・4%)の割合です。

税金の納付が遅れると

ストップ! 滞納

市民の皆さんが納めている税金は、よりよい町づくりのために活用されています。しかし、税金の納付が滞ってしまうと公共サービスを提供するための財源が不足し、皆さんの生活に多大な影響を及ぼすことになってしまいます。

納期限内に納付した人との公平性を保ち、市税の徴収を確保するためにも、市では税法に従い、適正な滞納整理を行っています。必ず、納期限内の納付をお願いします。

忙しい納付に行く時間のない方には、便利な口座振替をお勧めしています。

口座振替をご利用ください

⑤公売・換価
差し押さえた不動産などの公売や、預貯金・給与の取り立てを行い、滞納税に充てます。

④財産差し押さえ
督促状が送付されてから、10日を経過しても完納されない場合、財産差し押さえる対象になります。

③財産調査・搜索
金融機関や勤務先、取引先などに対して財産調査を行います。また、自宅や事務所を搜索する場合もあります。これらは国税徴収法・地方税法に基づき実施され、個人情報保護法の適用は受けません。

②催告
督促状が送付されても納税がない場合、電話や文書により催告を行います。

①督促状の発送
納期限を過ぎても完納されない場合は督促状が送付されます。

滞納処分の流れ

滞納Q&A

Q 市税を滞納しているのは分かっていますが、他の借金があつて税金の納付ができないのですが。
A 「原則として、税金はすべての債務に優先する」と地方税法第14条で定められています。つまり個人の債務(借金)より、税金が優先されます。

Q 滞納額が少額なら差し押さえはされませんか?
A 滞納額の多い少ないにかかわらず、財産があれば差し押さえを行います。

Q 「納税お知らせセンター」から税金に関する電話が掛かってくるのですが。
A 本市から委託を受けた民間事業者です。納期限が過ぎ、督促状発送後も市税などの納付の確認が取れない方に対して、電話で納付の呼び掛けを行っています。

納期限内での納付が困難な特別な事情がある場合は、そのまま放置せずに収納課へご相談ください。換価・納税の猶予が受けられる場合があります。

問合せ／本庁収納課納税G

(内線2450、2451)

VOL.25 防災トピックス

このコーナーでは、防災に関する備えや避難時の注意など、日頃から災害に備えるための情報をスポットで発信していきます。

問合せ／消防局予防課 予防調査係 ☎(22)0135



住宅火災を起こさない! 命を守る10のポイントをチェック

住宅火災から命を守るために

火災の中でも、住宅で発生する火災で多数の死者が出ています。その出火原因は、生活する上で身近なものが多くを占めています。11月9日(木)から15日(水)まで、令和5年秋季全国火災予防運動を実施しています。この機会に、消防庁が作成した「住宅防火のいのちを守る10のポイント」を確認し、住宅火災から命を守るための対策を行いましょう。

住宅防火のいのちを守る10のポイント

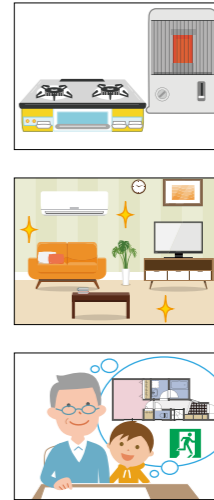
●4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ③こたろを使うときは火のそばを離れない
- ④コンセントのほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

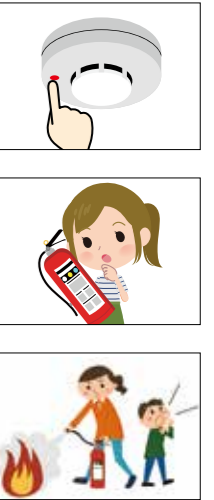


●6つの対策

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこたろなどは安全装置の付いた機器を使用する
- ②火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する
- ③お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う



11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」

問合せ先 本庁社会福祉課 相談G(内線2367)

児童虐待は、家庭や学校、地域全体で取り組むことで、発生の予防や早期発見につながります。あなたの周りに「気になる子ども」はいませんか? 子どもの命、権利、そして未来を守るために、もしかしてと思ったら、市の児童虐待相談電話や児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちはやく)」などを利用して相談してください。あなたの一報で救われる子どももいます。

ヤングケアラー※相談電話
ヤングケアラー なくしたい
☎0120(080)794

※ヤングケアラーとは、「大人と同じように責任を担って家族のお世話や介護、家事などを日常的に行っている18歳未満の子どもたち」のことをいいます。

虐待かもと思ったら
児童相談所全国共通3桁ダイヤル
☎189(いちはやく)

児童虐待 相談電話
☎(20)6343

オレンジリボンツリー・パープルリボンツリー設置のお知らせ



本市では、「児童虐待防止(オレンジリボン)」「暴力撲滅(パープルリボン)」を目的に、市民協働型事業として市民の皆さまに児童虐待・女性に対する暴力のない社会になることを願ってリボンを結んでもらうよう呼び掛けています。(ツリー設置箇所: 本庁2階総合案内横)





シリーズ高血圧④

11月8日は

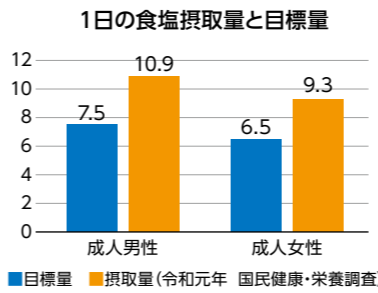
いい野菜の日

の日（高血圧対策は、減塩と排塩で）

本市では、脳卒中や心臓病の一つである心筋梗塞で亡くなる人が全国・県と比較して多い現状です。これらの主な原因の一つが「高血圧」です。今回は、「減塩と排塩」をテーマにお伝えしていきます。

血圧と塩分の関係

人間の体の中では、水分と塩分が一定の濃度に保たれています。塩分を過剰摂取すると、一時的に高くなった塩分濃度を下げるために、体内に水分がため込まれます。このことにより、心臓に送り込まれる血液量が増え、血管に加わる圧力が増えることから、血圧が上昇します。



●目標量
 成人男性:7.5g未満
 成人女性:6.5g未満
 高血圧・慢性腎臓病の人:6.0g未満

身近な食品に含まれている食塩量

濃い口しょうゆ(小さじ1)	約0.9g	さつまあげ(1枚)	約1.0g	ロースハム(1枚)	約0.3g	パン(6枚切り・1枚)	約0.7g
ウインナー(1本)	約0.3g	梅干し(1個)	約1.8g	ちくわ(1本)	約1.3g	うどん(1玉)	約0.7g

「減塩」排塩を心掛けて高血圧対策をしましょう

- 減塩の工夫方法
- ①調味料は、小皿を使い、片面のみに付ける。
- ②汁物は、具をたくさん入れる。
- ③酢やレモン、ゆずなどのかんきつ類を使用し、酸味を利かせる。
- ④だしを活用する。

●排塩するためには
 排塩とは、体内から塩分(ナトリウム)を排出することです。
 野菜や果物に多く含まれている、カリウムには、塩分(ナトリウム)を体外に排出する働きがあります。積極的に食べるよう心掛けましょう。
 生のままで食べるよりも加熱すると「かさ」が小さくなり、たくさん食べられるようになります。

カリウムが多く含まれている食品

カボチャ(4分の1個)	約1,215mg	バナナ(1本)	約430mg	チンゲンサイ(1株)	約220mg
トマト(1個)	約400mg	ホウレンソウ(1株)	約125mg	コマツナ(1株)	約175mg

1日のカリウム摂取目標量 成人男性:3,000mg 成人女性:2,600mg
 (日本人の食事摂取基準(2020年版))



薩摩川内市 350ベジライフ 宣言

市民健康課では、食事や運動、健康について個別で相談を行っております。お気軽にご相談ください。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



▲血圧のはなし

まずは、普段の食事に塩分がどのくらい含まれているのか確認することから始めましょう。それから、1日の食塩摂取量の目標値を目安に、カリウムが多く含まれている野菜をたくさん摂るなど、減塩・排塩を心掛け、高血圧の予防に努めましょう。

問合せ先／市民健康課健康増進第1G
 (すこやかふれあいプラザ内)
 ☎(22)8811

深発見歴史文化遺産

★つまずきせんだい

第拾漆回 川内大綱引

今年、4年ぶりに開催された川内大綱引。このページでは川内大綱引がいかに独特な行事であるかと、記録からみる歴史についてご紹介します。

薩摩川内には長い歴史の中で起きた物語、育まれた文化が数多くあります。このコーナーでは、数ある薩摩川内の歴史文化の中から、とっておきのトピックスをご紹介します。

綱引行事の起源

綱引行事は全国的に小正月・お盆・十五夜に行われる稲作儀礼として豊穣を祈願する神事で、県内では十五夜に多く行われます。

綱引の後、綱を輪にして土俵として、相撲を行う地域もあります。この輪は月あるいは蛇を表し、満ち欠ける月、脱皮を繰り返す蛇は不老長寿と再生を結びつけるといわれています。

ここが違う！川内大綱引

そんな綱引行事の中で、川内大綱引は他の行事とかなり異なる特徴があります。

【勝負への執念】
 川内大綱引はまず勝ち負け。互いに誇りをかけて挑み、強い絆を生む。

【太鼓が重要】
 綱引における司令塔ともいえる一番太鼓。太鼓が鳴る間しか綱を引くことが許されない。一

番太鼓は一生に一度の名譽職であり、憧れ。

【綱「引」なのに「押」隊がいる】
 相手の引隊を邪魔する押隊。また相手の押隊から自軍の引隊を守るのも押隊。常に体を張り、絶対に「引かない」。

【ワサをダン木にかける】
 初めて見る人は誰しも「これは何か？」と感じる行為。世界の綱引に類をみない防衛手段。掛け損なったら勝負がついてしまうので、「ワサ係」はワサ作りから戦いが始まっている。

【秘密兵器「引綱」】
 直径4センチメートルの握りやすい太さで、大綱に取り付け、大人数で引きやすくする。記録によると昭和54年に向田開催で下方がつけたのが始まり。現在は本数を決めて上方・下方均等に配る。勝敗を大きく左右する切り札で、保管場所も秘密。

川内大綱引の記録

川内大綱引の実施について、

現在確認できる最古の資料は、明治34年(1901)「回天同窓会々報」第三号という小学校同窓会の会報で、前年(明治33年)に「全体の綱引例年より遅く始まり」とあり、この以前から行われていたことが分かります。

また新聞記事では、明治40年(1907)の「鹿児島新聞」9月26日付記事で「有名な川内の綱引」として十五夜の日から「大小路、開聞、向田上町、白和、向田等順次毎晩」旧暦十八日まで4日間行われた、とあります。各町で日程をずらして行われていたようです。

大正3年(1914)には鉄道川内線(川内町駅・鹿児島駅間)の全線開通を受け、各町でそれぞれ決めていた日程を話し合いで調整することになり、合わせて実施場所も調整し、向田町、新道通り、大小路、白和町の4カ所に集約することになりました。

昭和13年(1938)10月13日付の新聞では、「川内地方年中行事中の代表的なものの中で先づ第一指に屈せらるる川内町向田本町通りの中秋八月の十五夜大綱引」とあり、当時からこの地方を代表する行事であったことが分かります。また、戦時体制の中、綱引を行う理由を「単に娯楽といふに止まらず」「古来地方青少年の士気を養ひ鼓舞する」としており、ただの綱引ではないことが強調されています。

しかし昭和19年(1944)以降、厳しい戦局の中、この年から綱引は中止。本市域も空襲を受け、多くの被害が出ました。戦後、復興を進める中で昭和22年(1947)、川内大綱引も復活しました。復活の大きな原動力となったのが「川内部屋」です。

川内部屋は地方の草相撲団体で、力自慢の若者が毎晩稽古に50人ほど集まったといえます。

川内大綱引のこれから

これまで川内大綱引は、地元の小規模な商工業者や住民が協力して行われてきた。しかし、戦時体制下で継承され、他の綱引行事と異なる独特の変化を遂げています。また、綱引のために県外から帰ってくる若者も少なくなく、川内大綱引は人と地域を結びつける行事でもあります。伝統を守りながら進化していく、この稀有な行事を未来へ引き継ぎ、来年の開催に向けた準備はすでに始まっています。



【参考文献】
 薩摩川内の大綱引き調査報告書(薩摩川内市教育委員会)

■文責・問合せ先 社会教育課 文化財G(中央公民館内)
 ☎(22)7251

人のとなりにならうに

おかもと 眞弓さん

市民の安全安心を第一に考え、日々の業務に取り組み警察官。故郷に赴任し、地域のために日々汗を流す薩摩川内警察署交通課長の思いに寄り添います。



「人のとなり」とは…
文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てていくことを目的としています。

きっかけと続ける理由

「損得抜きで、人のためにやる仕事があった」と話すのは、薩摩川内警察署で交通課長を務める岡本眞弓さん。「母に採用試験を受けてみたらと勧められたことが警察官になるきっかけだったそうです。警察官として働き始めた新人時代に、とある事件のご家族からもらった「私たちは警察に救われた。警察官を続けてください」という言葉が警察官を続ける理由の一つだと言います。

ホームグラウンドで

本市は「自分のホームグラウンド」と話す岡本さん。同級生と一緒に仕事をすることもあり、本音で話すことができるため、安心感があり、今までで一番仕事が楽しいそうです。

また、「地元だと土地勘がある会社として、昭和35年に創業しました。東京に本社を置き、県内には東郷工場と鹿児島工場（祁答院町下手）、紫尾工場（さつま町）があります。整流子とは、モーターを回転させるためのパーツの一つです。当社で製造している整流子は、電流の調節が必要な医療機器や工作機械、瞬間的な出力が必要となる産業用直流モーターなどに多く使用されています。

警察官として

交通課長として、交通事故防止の講習をする機会も多く、事故防止のために大切なことは、「事故を起こしたくない理由を考えてもらうこと」だそうです。

「交通事故を起こしたくなくて起きている人はいない。でも、『起こしたくない』という理由を明確に意識することで、より具体的に事故を防止する行動をするようになる」と言います。

例えば、「大切な人」を強く意識してもらうために、次のことを想像してもらいます。「あなたに残された時間があと10分しかないとしたら、誰にどんなメッセージを最期に送りますか」大切な人をどれだけ大切に思っているか、はっきり意識すれば、絶対に交通事故を起こしたくないと思うはず。「事故を起こしたくない理由を明確に意識してほしい」と話します。

互いに手を取り合って

本市では、川内大綱引と薩摩川内はんや祭りが国道3号で開催されます。メインストリートを通り交差点を規制することはとても大変なことなのか。

4年ぶりに開催された川内大綱引では、市民の安全を守るため、その特徴と、警戒警備のポイントをまとめた資料を一から

作成し、事前に安全確認や渋滞対策で交通流をシミュレーションするなど、「できる準備は全てした。それでも、想定外のことが起こる可能性もあるので、気が抜けなかった」そうです。

「イベントの成功は、安全の上にはか成立しない。運営側も警察側もイベントを成功させた気持ちと同じ。同じ目標に向かって連携して、一緒に成功させたい」と話してくれました。

地域の方々への思い

「交通事故は1秒あれば防ぐことができる。その1秒は、車間距離を広く取ることやスピードを出し過ぎないこと、そして『事故を起こしたくない理由』を明確にすることで生み出せる」と話します。また、「みんなが安全に過ごせる町であってほしい」と願い、県内の小学生が作った詩を紹介してくれました。

「ばくのお母さんは100でんよりもはなまるよりも『ただいまがーばんうれし』だって」

帰りを待つ大切な人に、毎日当たり前「ただいま」が言える町になるよう、岡本さんは今日も市民の安全を守ります。



▲高校生に交通安全講習を行う岡本さん

深ボリ！ 企業のチカラ

第59回 高千穂工業株式会社

今回は、高千穂工業株式会社を「深ボリ！」。東郷工場工場長の早崎和裕さんにお話を伺いました。

事業の概要

当社は、「整流子」を生産し、世界の電機メーカーに出荷す



▲早崎工場長（前列中央）と社員の皆さん



▲整流子の部材

▲整流子の部材を組み上げる様子

新しい挑戦

会長の発案で事業推進本部を立ち上げ、新たに椅子の開発を始めました。現在は、東郷工場のみで製作しています。すのこ状にできた楕円形の座面に座骨がフィットし、仙



▲新たに開発した椅子

今後の抱負

ベテランの社員がこれまで培ってきた技術を若い社員へ共有し、スキルアップを図りながら、整流子製造における国内のシェアを伸ばし、さらに、世界に向けてシェアの拡大を目指します。

また、新たに挑戦を始めた椅子の製造では、現在使っている県外産の材料を鹿児島県産のものにシフトさせ、地元貢献できる仕組みを作りたいと考えています。

社員からのメッセージ



入社10年目
高江隆博さん

現在、整流子のもととなる銅の引き伸ばし加工の工程を担当しています。精度を求められる仕事であり、不良なくきれいな製品を作るよう心掛けています。

今後は、全体も把握しながら未経験の加工作業にも挑戦し、会社はもちろんのこと、モーターの世界に貢献していきたいです。

高千穂工業株式会社 東郷工場

- Information -

代表者：工場長 早崎和裕

所在地：東郷町斧淵 1006

従業員数：15人

連絡先：☎(42)1788

ホームページ▶



とりまる 鳥丸彼岸花祭りを開催

9月24日(日)、鳥丸地区の田の神ロードで、第5回鳥丸彼岸花祭りを開催しました。

キッチンカーフェスティバルや郷土芸能の田の神踊り、エイサー踊りの他、志学館大学(鹿児島市)の学生がよさこいを披露し、会場は大いに盛り上がりました。



【情報提供：鳥丸地区地域おこし協力隊】

3人で選手宣誓

9月24日(日)、里中学校で、午前中に里幼稚園、里小学校、里中学校の合同運動会、午後からは5年ぶりとなる地域の体育大会が開催されました。

幼稚園・小学校・中学校の合同運動会は、市内でも里地域だけです。それぞれの代表3人による選手宣誓では、声をそろえて運動会での健闘を誓いました。



中学生が甑島の水産業について学ぶ

9月6日(水)・20日(水)、海星中学校の1年生が甑島の水産業について学びました。

北薩地域振興局の職員や手打漁業集落の方々から甑島近海で獲れる魚の種類や漁獲量などを詳しく教えていただきました。また、地元漁師の方々には、漁師になるきっかけやライフスタイルなどについてインタビューし、生徒たちは地元の水産業についてより深く知ることができました。



「まちの話題」に投稿ください。



まちの話題は、市民の皆さんからいただいた情報により、身近な話題を掲載しています。皆さんからのたくさんの投稿お待ちしております。



投稿方法

- ①タイトル(11文字程度) ②本文(140文字程度)
 - ③投稿者名 ④連絡先 ⑤写真1枚~3枚
- を添えて、秘書広報課までメールで投稿ください。
メールアドレス/koho@city.satsumasendai.lg.jp

※内容やスペースの都合により掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

体験を通して交通安全を再認識

9月25日(月)、南九州自動車学校で、公益社団法人鹿児島県トラック協会による、高齢者を対象とした交通安全教室が開催されました。

参加者は、乗車体験により運転中の死角や踏み間違い事故の危険性を改めて認識し、交通安全に対する意識を高めました。



世界へ羽ばたけ

9月26日(火)、市内の卓球クラブ光香TTCの選手2人と指導者が、市長を表敬訪問しました。

平賀光留選手は6月に開催された九州大会小学4年生以下男子シングルスで準優勝を、平賀春香選手は7月に開催された全国大会小学2年生以下女子シングルスでベスト8の成績を収めたことを報告しました。2人は、大会で優勝して日本代表になりたいと、今後の目標を力強く話しました。



私の「指定席」が完成しました

9月15日(金)、少年自然の家で、森の学校(木工)を開催しました。11人の参加者は、角材を切ったり、ビスを打ったりして、すてきな組み立て式のオリジナルローチェアを完成させました。



保護猫・保護犬の譲渡会を開催

9月17日(日)、リブプラス(西向田町)で、保護猫・保護犬の譲渡会を開催しました。

この取り組みは、保護猫や保護犬の里親を探すことを目的としています。今回もたくさんの方にご来場いただき、里親の希望を受け付けました。



【情報提供：動物愛護団体くるくるいちご】

移住者交流会を初開催

9月29日(金)、喫茶アカリトキ(西開間町)(SOKO KAKAKA内)で、「きやんせCafe」を開催しました。

これは、本市に移住された方々の交流を目的に茶話会を開催したもので、参加者は、先輩移住者でもある店主の講話を聞き、お互いに移住の経験談を語り合うなどして、交流を深めました。



ホテルが避難所に！ 移動式宿泊施設の運営会社と協定を締結

10月2日(月)、㈱デベロップと「災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定」を締結しました。これは、災害時に移動式の宿泊施設を避難所として活用することを目的としたものです。

移動式宿泊施設のHOTEL R9 The Yard 薩摩川内(ホテル アルナイン ザ ヤード さつませんたい)が宮里町にオープンし、通常はホテルとして利用されますが、災害時は避難所などの役割を担う「レスキューホテル」として活用されます。



かごしま国体盛り上げるために 倉野地区出身の国体出場選手激励会を開催

9月23日(土)、倉野地区コミュニティセンターで、かごしま国体に出場する選手の激励会を行いました。

倉野地区出身の5人の選手がホッケー競技に出場することから、各選手の決意表明の後、市長からの激励のあいさつがあり、みんなでエールを送りました。



【情報提供：倉野地区コミュニティ協議会】

かごしま国体盛り上げるために 国体開催を前にボランティア活動

10月1日(日)、木場茶屋町の国道3号バイパス沿いで、木場茶屋自治会の有志により、草刈りと清掃活動などのボランティア活動を行いました。国体開催で、県内外から多数来られる大会関係者や観客を、本市の玄関口である木場茶屋町はきれいな環境で出迎えました。



【情報提供：岩元秀行氏】